

経営比較分析表（令和2年度決算）

愛知県 飛鳥村

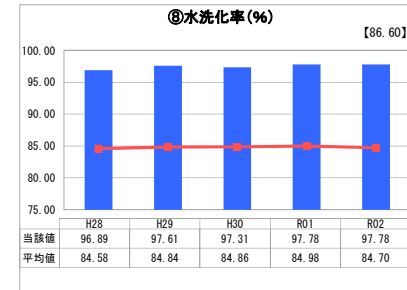
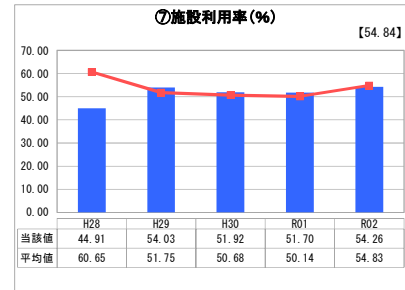
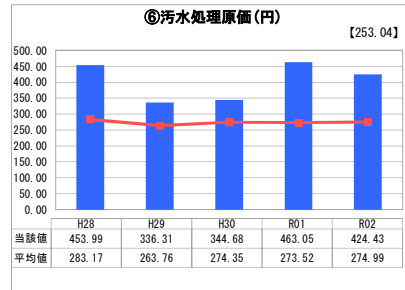
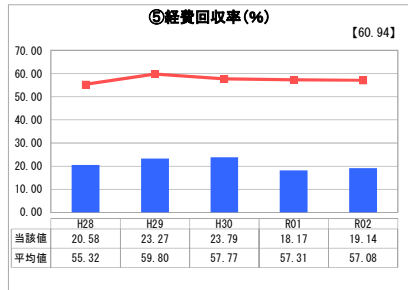
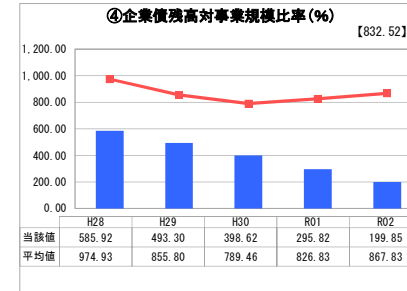
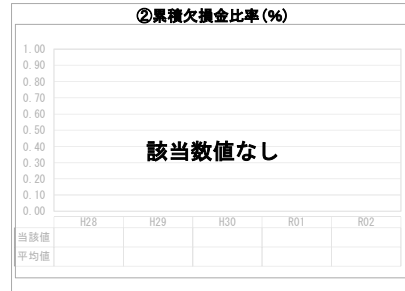
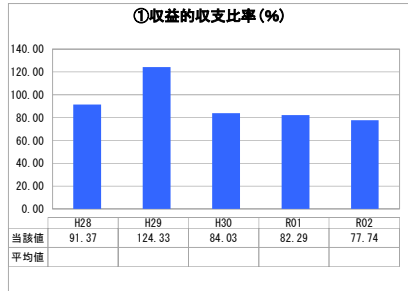
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	87.21	90.00	1,936

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,791	22.42	213.69
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,181	2.27	1,841.85

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

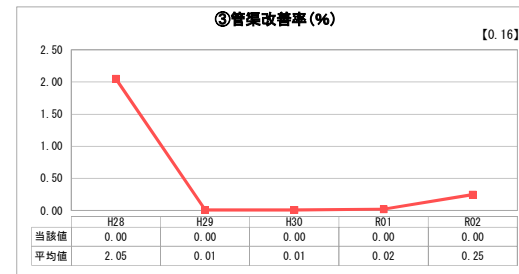
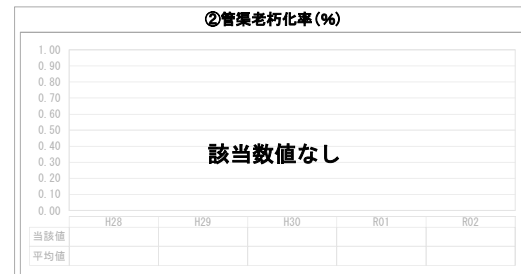
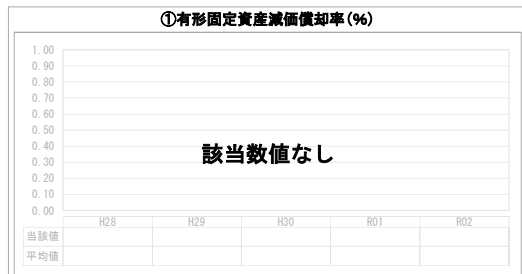
1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益の収支比率
一般会計からの繰入金に依存しているのが現状で、経営改善に向けた取り組みが必要な状況です。
- ④企業債残高対事業規模比率
企業債残高対事業規模比率は、整備事業の縮小により企業債残高は減少していきます。
- ⑤経費回収率
水洗化率が高いにも関わらず経費回収率が類似団体平均値を下回っているのは、適切な料金設定がされていないことが要因で、今後、適切な料金体系の改定を検討していきます。
- ⑥汚水処理原価
処理施設の老朽化による機器更新費用が増加しているため汚水処理原価が平均より高いです。
- ⑦施設利用率
平均値を上回る形で推移しており、適正な水準にあります。
- ⑧水洗化率
平均値を上回る形で推移しています。

2. 老朽化の状況について

平成16年度に、最終の処理区の供用を開始しており、管路整備については完了しています。近年は、維持管理にコストを投入していますが、供用開始時期が早い処理区は、平成4年度からであるため、老朽化対策が必要です。

2. 老朽化の状況



全体総括

村内の全ての処理区において整備が完了しており、近年は維持管理にコストがシフトしています。しかし、経費回収率が低いことから現状では適切な水準の料金収入が確保されていない状況です。経営の健全化を図る必要があると考えています。経営戦略は、令和2年度に策定され、令和7年度に見直しします。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。